

まささんだより

2016年8月号



平成28年 8月号 (vol.48) 不定期発行です。
ソニー生命保険株式会社
神戸ライフプランナーセンター 神戸中央支社
エグゼクティブ ライフプランナー 山本 正明
〒650-0034 神戸市中央区京町80 クリエイト神戸7F
tel 078-333-1131 fax 078-333-1130 携帯 090-9547-8493
E-mail: MASAANKI_YAMAMOTO@sonylife.co.jp
個人ホームページ: <http://masasan.com>



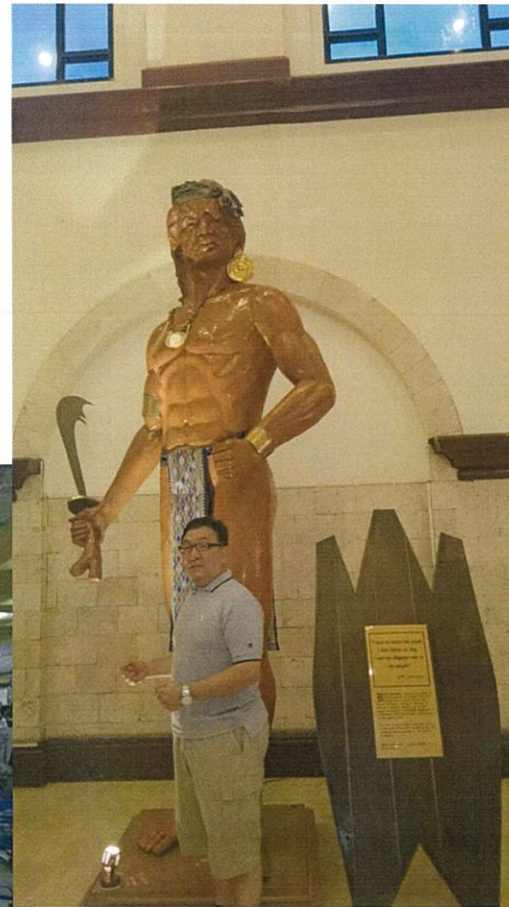
奇跡の営業

山本正明

たのおじさんが
44歳で転職
入社以来たった10年で
驚異の連続業績
460万を達成して
ソニー生命
4000人の
トップに立った
秘訣とは？

近況報告

7月14日～17日にセブ島に行きました。セブの町は昭和20年代の日本と同じです。今回はダイビングを体験しました！海の中本当に綺麗でした。



7月に行われた行事

- 7月 7日 BCP
- 7月 8日 かんぽ生命にて講演(東京)
- 7月 8日～ 9日 SHE合宿(東京)
- 7月14日～17日 セブ島旅行
- 7月25日～31日 ハワイにてグランドコンベンション表彰式



可愛げのある言葉

言葉のパンチをだす人って、どこの会社にもいる。そういう人は、すぐに上司や同僚とケンカになって、職場の空気を悪くするし、自分の立場も悪くする。会社の中では「正論」が、危険なパンチになることがよくある。これは言い方が正しくないってこと。言っていることが正しくても、言い方が正しくなければその日本語は正しくないし、相手の気分を悪くさせる。「どうして、すぐにA社に連絡をしなかったんですか？それは、A社が処理すべき問題であって、ウチがやるべきことではないでしょう。莫大な時間と経費のムダですよ！」なんて、まくしたてる。自分が言っていることに間違いはないと確信してるから、自信満々にまくしたてる。こんなことがわからないなんて、どうかしてるんじゃないですか？と言わんばかりに正論をぶつける。言われている方としては、こいつの言っていることは正論であるんだけど・・・、という気持ちすらフツ飛んで、ひたすらどこまでも気分が悪くなる。こいつは人の気持ちのわからないヤツだ、人間として最低だ、というような気分を高める。そうならないためには、どうすればいいのか。正論を言うときには、その頭やおしりに、かわいげのある言葉を足せばいい。たとえば、「ボクみたいないつもヘマばかりやっている人間が言うのもなんですけど・・・」のような言葉を頭にくっつけてみる。感情が高ぶって、つい頭に言葉を足すのを忘れたときでも、おしりのところに「・・・なーんて、みなさんが先刻ご承知のことをエラそうに言っている自分が、恥ずかしくなってきました」のような言葉を足せば、正論の破壊力が、ずいぶん緩和される。頭とおしりと両方に、かわいげのある言葉を、いくつか用意して持っておくと、自分も相手も会話で気分が悪くなるのがめっきり減るから、すごくいい。言葉のパンチが、パンチじゃなくて、相手のほほをなでるくらいの、ソフトな言葉に変わるから。

ライフプランにお変りはございませんか？

ライフプランが変化すると必要な保障内容もまた変化します。大切なご家族を守るためにも、定期的にライフプランの確認をしましょう！

その他、近況などもお伝えいただくと嬉しく思います！
山本までメール、FAX、お電話にて、お気軽にご連絡ください！

E-mail: MASAANKI_YAMAMOTO@sonylife.co.jp
携帯 090-9547-8493 tel 078-333-1131 fax 078-333-1130

